

## 第 55 回 役員会 議事要録

日 時：平成 26 年 4 月 25 日(金)14：00～15：30

場 所：北方キャンパス本館 E703 会議室

出席者：石原理事長、近藤副理事長、片山理事、松尾理事、梶原理事、  
江本理事、中野(昌)監事、中野(利)監事

### 報 告

- 1 平成 26 年度の重点的な取組みについて
- 2 教員の昇任選考について
- 3 学部長等の選考について
- 4 平成 26 年度入学者数について
- 5 平成 25 年度卒業生の就職状況について
- 6 平成 25 年度工事の契約変更及び平成 26 年度施設整備について

#### 報告 1 平成 26 年度の重点的な取組みについて

<質疑応答>

- ガバナンス改革はいつ実施するか。
- なるべく早い段階で実施したいと考えている。
- 財政面はどのような状況か。
- 厳しい状況である。本学の財政状況を北九州市に訴えていきたいと考えている。これまで以上に学長のリーダーシップを発揮し、外部から資金を取り入れたい。
- 平成 27 年度予算編成方針会議は 3 月から実施している。また、産業経済局と適宜協議を行っている。
- 北九州市からの運営交付金はどのくらいか。
- 約 18 億である。
- 授業料で半分の約 40 億であり、外部から約 10 億獲得している。経費の見直しを考えている。
- JR九州のインセンティブも参考にしたいと考えている。
- 課単位で経費削減の知恵を出し合い競争させることで、100 万円単位、1,000 万円単位の経費削減を行っている。
- プロパー職員からの職員提案も行っており、照明の LED 化などを実施した。

#### 報告 2 教員の昇任選考について

<質疑応答> なし

#### 報告 3 学部長等の選考について

<質疑応答> なし

#### 報告 4 平成 26 年度入学者数について

<質疑応答>

- 市内からの入学者の割合はどのくらいか。
- 学部が約 22%、大学院が約 76%で、全体で約 29%である。過去 5 年間では、約 25～30%で推移している。一般選抜試験の割合が高いので、分析して広報に生かしたいと考えている。
- 優秀な学生を入学させることが重要である。

## 報告5 平成25年度卒業生の就職状況について

### <質疑応答>

- 経済学部の就職決定率が高いので、経済学部の就職支援の取組について、FD研修で報告する予定である。
- 文学部の就職先はどのようになっているか。
- 学んだ分野と就職先は異なっている。
- 昨年度は、主な就職先として、サービス業、商業、金融業などであった。
- 比較文化学科は女子の割合が高いため、サービス業の割合が高い。
- 東証一部上場企業には約100社、上場企業は約150社就職している。
- 就職先は、学生が選ぶうえで大事な要素である。
- 就職については、オープンキャンパスで保護者からの問い合わせも多い。

## 報告6 平成25年度工事の契約変更及び平成26年度施設整備について

### <質疑応答>

- ラーニングコモンズとは何か。
- 学生が自主勉強するための学習スペースである。
- 図書館の中で、学習ができる場ができ、いろいろなスタイルで学習したりディスカッションしたりできる。海外では論文の書き方など、学習指導を行っている。ラーニングコモンズの委員会を立ち上げる予定である。
- 昔の図書館とは異なる。
- 新図書館の2,3階は静かなスペースで、1階は賑やかなスペースとなる。
- 北方キャンパスは敷地が狭く、学内滞在時間が短いため、学生が勉強する場や教員が研究する場が必要である。
- 公共の図書館もラーニングコモンズが増えている。
- 視聴覚ホールはどのような運用を予定しているか。
- 椅子を可動式にし、人数が多い場合に講演の場となる。
- 現在の図書館はどのようになるのか。
- 主に書庫になる。よく使用する本は新館に置き、あまり使用しない本は本館に置く。